

9月1日「防災の日」を前に、北海道胆振東部地震のラジコ利用状況を開示
平常時と比較して、災害時、道内利用者が2.7倍に。
ラジコプレミアム（エリアフリー）で道外からも1.7倍に。
無料ラジオアプリ・ラジコで、ラジオが1人1台の時代へ

株式会社 radiko（代表取締役社長：青木貴博、所在地：東京都中央区）は、9月1日「防災の日」を迎えるにあたり、防災への機運が高まる中、災害時のラジコ利用状況に関する多数の問い合わせを受け、2018年（平成30年）9月6日、3時7分に発生した北海道胆振東部地震（最大震度7）時のラジコ利用状況を開示いたします。利用状況からは以下のことが伺えます（利用状況は次ページ）。

1. 道内ラジコユーザー（ライブ）

- (1) 3時7分発生後、道内のラジコユーザーが増加し、3時30分~4時の30分間がピークとなっています。
- (2) ピーク時、平常時の2.7倍（前週比2,697%）のラジコユーザーがラジオ放送を聴取したことになります。

2. 道外からラジコプレミアム（エリアフリー）で道内ラジオ放送を聴取したラジコユーザー

- (1) 道外からラジコプレミアム（エリアフリー）で聴取したラジコユーザーも、平常時に比べピーク時で約1.7倍となっています。
道内在住の家族、友人、知人を心配して災害情報を取得しようとしていることが伺えます。
- (2) 道外から聴取するラジコユーザーは、時間が経過しても減少していません。
道外ラジコユーザーの、道内在住の家族、友人、知人への“心配の高さ”が伺えます。

㈱radikoでは、今後も、予測できない災害時、ラジオ放送に加えて、有益な情報インフラの役割を果たすべく、ユーザビリティの向上を目指します。

ラジコ利用状況（次ページ）について

ラジコでの道内ラジオ聴取ユーザー数を、地震の発生した2018年9月6日と、平常時（1週間前の2018年8月30日）で比較。平常時を100%とした場合の各時間での比較数値を算出しました。

※道内ラジオは、STVラジオ・HBCラジオ・AIR-G'（FM北海道）・FM NORTH WAVE・

NHKラジオ第1（札幌）の5局

※ラジコプレミアム（エリアフリー）はNHKラジオ第1（札幌）を除く。

【無料ラジオアプリ・ラジコ概要】

聴取可能局： 民放ラジオ93局、NHK（ラジオ第1、NHK-FM）、放送大学

月間ユニークユーザー数：約750万人

日間ユニークユーザー数：約140万人

プレミアム会員数（有料/放送エリア外聴取）：約63万人（2019年8月現在）

平常時を100%とした場合のユーザー数の比較

